

## 3年生「進路指導ガイダンス」大盛況



科搜研の裏側を赤裸々に語る猪井氏

在の仕事内容などの他、就活にも触れ、在学当時の経験談も話しました。同大学付属病院の石井規子・北部病院技師長は、同大病院のシステムや、採用したい人間像などについて触れました。

企業代表として、和光純薬工業株式会社から金田功一氏と山田隆輝氏が来場。金田氏も臨床検査技師の資格を持ち、現在臨床検査薬営業本部で活躍です。「職種は多岐にわたり、臨床検査技師の資格を生かせる場は沢山あります。可能性を絞らずに、縁を大切にしてください」と貴重なアドバイスがありました。

検査センター代表として、株式会社メコムの保泉有希さん（2010年学部1回生）と総務部係長の高橋伸光氏が来場。保泉さんは、仕事内容や職場での働き甲斐などについて、生き生きと話しました。高橋係長によると、業務は血液・透析・健康診断に特筆されるとのこと。一味違う検査センターの存在がクローズアップされました。

科搜研の具体的な仕事内容ほか、遺体が語る真実を根気よく探る仕事の厳しさや醍醐味についてバワフルに語りました。検診センター代表は、J R東

総合病院代表は、亀田総合病院の伊藤宏美さん（2005年卒専門44回生）と大塚喜人氏。伊藤さんは、同病院の採用試験は国家試験レベルであることに触れました。大塚氏は臨床検査部長ですが、同病院の詳細を語る姿は、トップセールスの迫力がありました。

終了後は、本学保健医療技術学部・工藤秀機学部長の挨拶で、情報交換会がスタート。臨床検査学科・碓水章学科長の乾杯後、3年生・4年生が、講演者・教員と心行くまで懇談。進路支援・鈴木敏恵委員長が、大盛況の進路指導ガイダンスを締めくくりました。

大学病院代表として、昭和大学病院の伊藤亜由美さん（2010年学部1回生、中面「保健医療技術学部卒業生座談会」参照）が壇上に。伊藤さんは、現

保健医療技術学部臨床検査学科の「進路指導ガイダンス」が7月30日、本郷キャンパスで開かれ、3年生は社会人の生の声を熱心に耳を傾けました。